

しだみ東学区通信

Shidami East School district Communication News

◆編集・発行
志段味東学区連絡協議会
学区通信編集委員会
名古屋市守山区大字
中志段味字宮前 1175-1
志段味東コミュニティ
センター内
TEL&FAX 052-736-4506

伝統の「灯」を守り続ける —— 5年ぶりの神事、百灯祭を奉納



中志段味連絡協議会主催（諏訪社氏子総代協力）の納涼夏祭りが8月14日、諏訪社の境内で実施され、地域住民ら約300人が5年ぶりとなる盆踊り大会を楽しみました。

境内に建てられた高さ約10メートルの柱に五段組で飾られた100個の提灯、その提灯山

の下で太鼓のリズムに合わせて多くの人々が踊る光景はとても神秘的で、参加者からは「昔ながらの夏祭りで派手さはないが、歴史ある提灯山には味わいがある。ぜひこの伝統行事を続けてほしい」と話していました。

主催者の中志段味連絡協議会の長松会長は

「4年間の空白があったが、伝統行事である百灯祭（提灯山）を復活できたことは大変嬉しく思います。協力して頂いた関係者の皆さまに改めて感謝を申し上げますとともに、来年度以降もこの伝統行事の灯りを絶やすことなく守りたい」と挨拶。来賓として参加した志段味東学区区政協力委員会の鎌倉委員長からは「神社と提灯山、そして盆踊りとの組み合わせた3点セットは、志段味地区に続いてきた伝統行事です。夜空に浮かぶ優雅な提灯山、残りわずかとなった夏休みですが参加した子どもたちもしっかり



と目に焼き付けていただき、楽しい思い出にしてください」と挨拶しました。

夏祭りには「和太鼓もりやん」の実演や自治会役員手づくりの風船すくい、学童保育所からのおもちゃ販売などの協力もあり、納涼夏祭りを盛り上げていました。



一度止まった車輪を動かすには これまで以上に大きなパワーが必要。

新型コロナウイルス感染症拡大の影響は、地域社会に深刻な変化をもたらしました。感染拡大が収束した後も、その影響は残っており、特に自粛を余儀なくされていた伝統行事の復活には、当時の知識をたどる必要があるなど大きな課題が残りました。

自治会組織の主要事業である伝統行事や地域イベントは、文化や習慣を次の世代に継承する場でもあり、子どもたちにとっても貴重な体験となります。もちろん、地域住民が連携することにより、地域防災にとっても重要な役割を果たしています。

やれない、できないの理由探しではなく、どうしたらやれるのか、できるのか——見事に復活した提灯山の姿にあらためて地域力の意義、大きなパワーを実感する機会となりました。



諏訪の原元気夏まつり ・ 開催日：9月29日（日）16時～ ・ 会場：名古屋国際学園駐車場

まちかどインタビュー vol.11

暖かい家庭のような場所づくりをめざして10年！！

今回は、ご自宅を提供し二つの高齢者交流サロンを運営されています大坪順子さんです。福祉活動や自治会役員を経験し、地域で暮らす高齢者の皆様に寄り添った地域活動を続けたいとの思いで交流サロンを始められました。



大坪順子さん

取材した交流会では多くの方が参加し、楽しい話題でとても和やかな雰囲気。お手伝いをするスタッフの皆さんからも信頼が厚く、元気一杯で活動する大坪さんご本人の思いを取材させていただきました。

Q. あらためて高齢者の交流サロンを始めたきっかけ、理由を教えてください。

——地域の皆様が楽しく、気軽に寄りそえる場所があると良いと思い、サロンを立ち上げました。今年で10年が経ちます。

Q. 現在、どれくらいの利用者さんが見えますか。

——「サロンよりみち」と「カフェみずいろの家」で約80人の方々が都合のよい時に参加して下さいます。

Q. 本日も多くの方が参加しています。このサロンを始めてよかったなと思うことを教えてください。

——折り紙に参加される方々はとても楽しいと喜んで下さいます。カフェに参加する方々は楽しくおしゃべりして、介護保険のことや体のこと、薬のことを相談される方も沢山みえます。

Q. 逆に大変だったことはありますか。

——看護師さん二人にボランティアをお願いできました。ですがケアマネさんをいきいき支援センターにお願いしていますが、毎月はとても難しく大変でした。でも10月からケアマネさんがボランティアに参加して頂けることになり、とてもありがたいです。

Q. その上で、運営に関する課題、行政に対する要望があれば教えてください。

——役所といきいき支援センター、民生さんには何かあった時連絡しています。でも災害の時には自治会とも協力し合うことが大事だと思っています。特に一人暮らしの方もいますので。

Q. 今後、この交流サロンをどのように運営したいですか。

——今後はボランティアさんと一緒に、皆さんが気軽に相談できる場として、暖かい家庭のような場所づくりをめざしていきます。

Q. 最後に、大坪さんご自身の趣味、夢を教えてください。

——人生の最後まで、人の役に立つ元気な体で楽しく地域の皆さんと共に幸せな人生でありたいです。スタッフの皆さん12人と共に、地域守り隊をめざしています。

ご協力ありがとうございました。

＜高齢者サロンとは＞

地域で自主的に運営されている高齢者が気軽に集まれる交流・仲間づくりの場。

引きこもりや閉じこもり、孤独といった状況を未然に防ぐ効果があるなど、地域のニーズが高まっている。地域住民の有志や自治会、民生委員などが運営主体となる場合が多く、活動内容も多種多様である。



	カフェみずいろの家	サロンよりみち
場 所	個人宅（中志段味南原 2685-140）	個人宅（中志段味南原 2685-140）
開催日	第1土曜日 10:00～12:00	第1月曜日、第1火曜日 10:00～12:00
内 容	認知症カフェ コーヒーとパン、お茶とお菓子	お茶を飲みながらのおしゃべり、 折り紙等
対 象	どなたでも	どなたでも
参加費	100円	100円

コミセン改修小委員会を設置

——志段味東コミュニティセンターリニューアル改修

昭和61年4月に開館した志段味東コミュニティセンターの改修工事が始まります。市の方針に基づき概ね40年を経過した施設に対して実施する大規模な改修です。すでにアスベスト、老朽化の事前調査が実施され、本年7月に改修小委員会が設置されました。本格的な改修工事は令和9年度からで、リニューアルオープンは令和10年4月を予定しています。

◀ **編集後記** どこに何がしまつてあるのか、組み立て手順は——4年の空白期間を心配する声もありましたが、関係者のご努力で見事に提灯山が復活しました▼一方、歴史ある建物も老朽化には勝てません。耐震も含めリニューアルされることになったコミセン。より利便性が高まるよう創意工夫が求められます▼ご自宅を開放して高齢者サロンを運営する大坪さん、参加者の多さに驚き、常に笑顔で接する大坪さんの姿に感銘を受けました▼夏も過ぎ季節は秋へ。迷走する台風もありましたが、本格的な台風シーズンに入ります。大震災への備えも合わせ、地域ぐるみで防災意識を高めていく季節でもあります (K)